

《履修上の留意事項》【面接授業のみ実施】 学生が濃厚接触者となった場合には遠隔授業と併用

《担当者名》○山田 律子 内ヶ島 伸也 船橋 久美子 若濱 奈々子 會田 英紀(歯)

【概 要】

高齢者の生理的老化と病的老化を踏まえて、老年期に特徴的な疾患や症状・障害の病態生理および生活機能への影響について学び、健康障害・生活障害をもつ高齢者のアセスメントとケアについて考えることができる。

【学習目標】

1. 老年期におこりやすい疾患や症状・障害の病態生理および生活機能への影響について説明できる。
2. 健康障害や生活障害をもつ高齢者への看護に必要なアセスメントとケアについて考えることができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	認知症	アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症	山田
2	認知症	アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症	山田
3	中枢神経系疾患	脳梗塞、脳出血、くも膜下出血 事前課題レポート1	山田
4	中枢神経系疾患	パーキンソン病、進行性核上性麻痺 事前課題レポート2	山田
5	感染症	疥癬、白癬、带状疱疹、ノロウィルス、インフルエンザ、COVID-19	土屋隼人(特別講師)・山田
6	皮膚疾患	老人性皮膚掻痒症、スキン-テア、褥瘡	土屋隼人(特別講師)・山田
7	運動器系疾患	フレイル、サルコペニア、骨粗鬆症、転倒、骨折	船橋
8	呼吸器系疾患	細菌性肺炎、誤嚥性肺炎	内ヶ島
9	顎口腔系疾患	口腔機能低下症	會田
10	徴候・症候	うつ、せん妄	船橋
11	徴候・症候	浮腫、脱水、痛み	山田
12	摂食嚥下障害	摂食嚥下障害、低栄養	山田
13	言語障害	失語症、構音障害	内ヶ島
14	循環器・代謝疾患	心不全、高血圧・低血圧、糖尿病	若濱
15	薬物療法	高齢者の薬物動態の特徴、高齢者の服薬管理支援	内ヶ島

【評価方法】

課題レポート20%と定期試験80%

【備 考】

教科書：山田律子・萩野悦子・内ヶ島伸也・井出訓(編)「生活機能からみた老年看護過程」第3版 医学書院,2016.
北川公子他「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」第9版 医学書院,2018.

【学習の準備】

- 1) 2年前期に履修した「老年看護学」の教科書と講義資料を用いて復習しておくこと。
- 2) 毎回の講義前に、授業内容に対応する教科書をあらかじめ読んでおくこと。(30分)
- 3) 毎回の講義後に、配付された資料と教科書等を使い要点を整理すること。(30分)
- 4) 課題レポートは、期限までに必ず提出すること。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

【実務経験】

山田律子(看護師、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士)、内ヶ島伸也(看護師)、船橋久美子(老人看護専門看護師)、若濱奈々子(看護師)、會田英紀(歯科医師)、土屋隼人(皮膚・排泄ケア認定看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

老年看護の実務経験に基づき、老年看護の展開に必要な老年期に多い疾患や症候・障害の病態について教育する。特に口腔機能低下症は高齢者歯科を専門とする歯科医師が、皮膚疾患に関しては皮膚・排泄ケア認定看護師がそれぞれ講義を担当する。